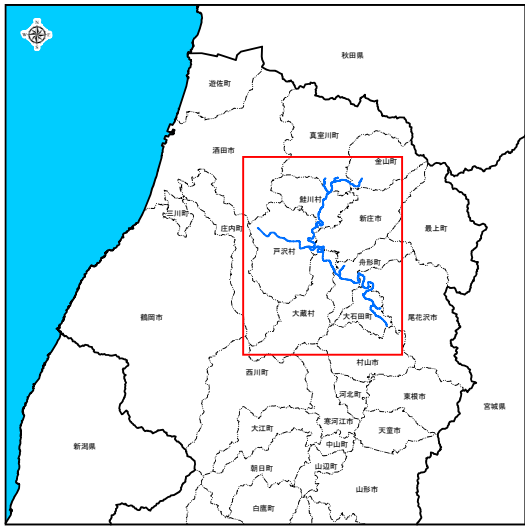


最上川水系最上川、鮭川、真室川、金山川、最上小国川、丹生川 洪水浸水想定区域図(計画規模)

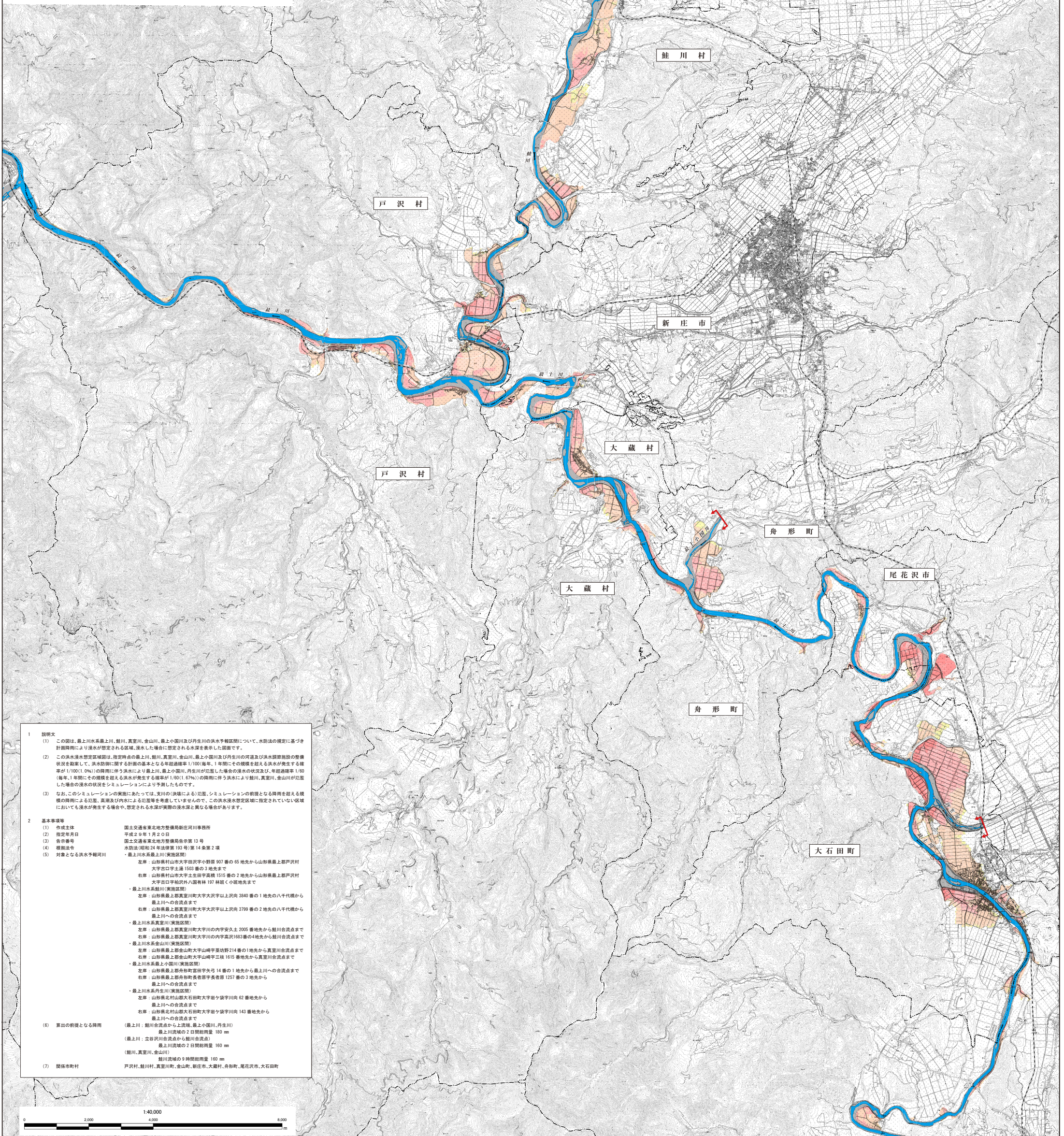


凡例

浸水した場合に想定される水深(ランク別)

- 5.0 ~ 10.0m 未満の区域
- 3.0 ~ 5.0m 未満の区域
- 0.5 ~ 3.0m 未満の区域
- 0.5m 未満の区域

浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川



1 説明文

(1) この図は、最上川水系最上川、鮭川、真室川、金山川、最上小国川及び丹生川の洪水予報区間について、水防法の規定に基づき計画降雨により浸水が想定される区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

(2) この洪水浸水想定区域図は、指定時点の最上川、鮭川、真室川、金山川、最上小国川及び丹生川の河道及び洪水調節施設の整備状況を前提として、洪水防衛に関する計画の基本となる年間超過確率 1/100(毎年、1 年間にその規模を超える洪水が発生する確率が 1/100(1.0%)の降雨に伴う洪水により最上川、最上小国川、丹生川が氾濫した場合の浸水の状況及び、年超過確率 1/50(毎年、1 年間にその規模を超える洪水が発生する確率が 1/50(1.67%)の降雨に伴う洪水により鮭川、真室川、金山川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

(3) なお、このシミュレーションの実行にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合があります。想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2 基本事項等

(1) 作成主体 国土交通省東北地方整備局新庄河川事務所
 (2) 指定年月日 平成 29 年 1 月 20 日
 (3) 告示番号 国土交通省東北地方整備局告示第 13 号
 (4) 根拠法令 水防法(昭和 24 年法律第 193 号)第 14 条第 2 項
 (5) 対象となる洪水予報河川

- ・最上川水系最上川(実施区間)
 左岸: 山形県山形市大字田沢字小野第 907 番の 65 地先から山形県最上郡戸沢村大字古口字土達 1503 番の 3 地先まで
 右岸: 山形県山形市大字土生田字高橋 1515 番の 2 地先から山形県最上郡戸沢村大字古口字柏沢村八国町林 197 林道く小坂地先まで
- ・最上川水系鮭川(実施区間)
 左岸: 山形県最上郡真室川町大字大字以上沢向 3840 番の 1 地先の八千代橋から最上川への合流点まで
 右岸: 山形県最上郡真室川町大字大字以上沢向 3799 番の 2 地先の八千代橋から最上川への合流点まで
- ・最上川水系真室川(実施区間)
 左岸: 山形県最上郡真室川町大字川の内宇安久土 2005 番地先から鮭川合流点まで
 右岸: 山形県最上郡真室川町大字川の内宇高沢 1683 番の 4 地先から鮭川合流点まで
- ・最上川水系金山川(実施区間)
 左岸: 山形県最上郡金山町大字山崎字豊坊野 214 番の 1 地先から真室川合流点まで
 右岸: 山形県最上郡金山町大字山崎字三枝 1615 番地先から真室川合流点まで
- ・最上川水系最上小国川(実施区間)
 左岸: 山形県最上郡舟形町大字宇字 14 番の 1 地先から最上川への合流点まで
 右岸: 山形県最上郡舟形町大字宇字 1237 番の 3 地先から最上川への合流点まで
- ・最上川水系丹生川(実施区間)
 左岸: 山形県北村山郡大石田町大字岩ヶ嶽字川向 62 番地先から最上川への合流点まで
 右岸: 山形県北村山郡大石田町大字岩ヶ嶽字川向 143 番地先から最上川への合流点まで

(6) 算出の前提となる降雨 (最上川: 鮭川合流点から上流域、最上小国川、丹生川) 最上川流域の 2 日間総雨量 180 mm
 (最上川: 立寄沢川合流点から鮭川合流点) 最上川流域の 2 日間総雨量 160 mm
 (鮭川、真室川、金山川) 鮭川流域の 9 時間総雨量 160 mm

(7) 関係市町村 戸沢村、鮭川村、真室川町、金山町、新庄市、大蔵村、舟形町、尾花沢市、大石田町

